

# 節電は楽しみながら継続を！

産経新聞 平成 24 年 (2012 年) 6 月 29 日 金曜日 夕刊

## 節電の夏

# 楽しみながら継続を

猛暑が予想される今年の夏、関西はかつてない電力危機を迎える。いよいよ7月2日からは具体的な数字を挙げての節電要請が始まる。そこで、節電の達人による家庭でもできる節電方法を紹介。また、太陽光など再生可能エネルギーを育てる取り組み「育エネ」も同日からスタートする。電力節約を数字で迫られるのは窮屈だが、これは辛抱を強いられるのではない。発想を変え、「節電ゲーム」を楽しむ心のゆとりを持ってほしいのだ。さあ、節電の夏を「クール」に乗り切ろう。

## 「カリスマ」野網さん 秘訣伝授

### ◆日陰に室外機設置

「こまめにテレビを消すなど、ちょっとした意識で、5%の節電はできる。何も難しいことはない。ただし、15%の節電には、知恵と工夫と行動が必要。その知恵を教えます」

地域の省エネ普及を推進する「省エネルギー普及指導員」であり、「家庭の省エネエキスパート検定」の合格者にも認定されている野網正幸さん(88)は、こう語る。昨年度、神戸市北区の自宅兼事務所で電気使用量は23・2%も削減。表右、電気代は16・7%、4045円の削減



「節電は楽しみながら継続するのがポイント」と話す野網さん

野網さんの電気使用量

	22年	23年
7月	639	446
8月	527	397
9月	533	461
合計	1699	1304

前年比23.2%減  
※単位はキロワット時

野網さんの電気料金

	22年	23年
7月	8730	6823
8月	7725	6302
9月	7707	6992
合計	24162	20117

前年比16.7%減  
※単位は円

を達成した「向左。いわば「節電のカリスマ」だ。

そのカリスマが教える匠の技。まずは夏の日中、家庭における消費電力の53%を占め、節電の鍵を握る「エアコン」編から。設定温度を28度にするとは知られつつあるが、野網さんは「室外機が重要」と指摘。よしずなどで日陰を作り、吸い込む空気の温度を下げることで、節電効果が得られるという。フィルターをこまめに清掃することも節電につながる。扇風機を併用すれば、体感温度も下がるという。

そのあみ・まさゆき 昭和19年、神戸市北区生まれ。平成15年、管理標準エネルギー使用合理化のための管理要領を定める「マニュアル」のコンサルタント事務所「WATTT」を設立。代表を務める。エコアクション21審査員、エコ環境フォーラム主幹審査員、エネルギー管理士(電気熱など)。

◆冷蔵庫の裏を拭く  
次は「冷蔵庫編」。主婦にとって身近な存在であり、一案外、知られていないが、大事なことは「離すこと」。離せば離すほど熱を逃す効果が得られるが、目安としては2ヶ月程度。その際、「冷蔵庫の裏をから拭きして、放熱をよくしてほしい。また、何度も開けず、一度に出入れすることも大事だ。」

さらに、野網さんが活用しているのは「プチプチシート」。正式には気泡緩衝シートといい、割れ物を包むのに使われるが、なぜ冷蔵庫にプチプチを？ 実は、空気の層に遮熱効果があり、庫内で扉を並行して張り付け、カーテンを作ることで冷気を逃さないのだ。庫内の温度を低く保つことができるため、野網さんは設定を「弱」に。電源のオン、オフをセットすることができる「24時間プログラムタイマー」を使い、午前1〜4時は電源を切ることも実践している。

続いて「照明編」。例えば、蛍光灯の裏にアルミホイルを張るだけで約1・8倍、明るくなるという。寿命が長く、消費電力が少ない発光ダイオード(LED)に替えることも有効だ。ちなみに、野網さんの自宅はサンルーフで日光を取り入れており、日中は照明要らず。自宅が事務所であることから「ウルトラサマータイト」と銘打ち、午前5時から仕事を始めるなど、朝の時間帯を有効に活用している。

◆テレビは少し暗め  
さらに、「洗濯は分別に限る」。汚れているものと、汚れの少ないものに分けて、メーカーによって呼び方は異なるが、それぞれ「標準」と「エコ」にコース(時間)を変える。また、夏は脱水時間を少なめにすることもおすすめ。野網さんの自宅では、洗濯を午後11時から午前7時までと決めており、深夜、早朝にするという手もある。

ほかにも、テレビの明るさは少し暗めに設定するなど、身近な工夫は、たくさんある。野網さんの自宅では壁面緑化のために「ゴーヤ」を植えており、「ゴーヤなら食べられるでしょ」と笑う。「大事なのは無理をしないこと。我慢するだけではなく、楽しみながら継続するのがポイント」

節電を不自由に感じるのも、楽しむのも、考え次第。野網さんが心がける楽しむ節電は、「猛暑を「クール」に乗り切る」といつながるともいえる。